

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された,または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは,皆様の診療情報等を利用し,下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては, 社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で,ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合,また,研究について詳細にお知りになりたい場合は,下記の問い合わせ先まで,ご連絡をお願いいたします。なお,解析用のデータが確定(データ固定)している場合は,研究データからあなたの情報を削除できませんので,ご了承ください。

① 研究課題名	大腿骨近位部骨折術後患者の回復期リハビリテーション病棟退院時の浴槽移乗自立に影響する因子の検討			
② 実施予定期間	研究倫理審査委員会承認後～2020 年 3 月 14 日			
③ 対象患者	2016 年 4 月から 2019 年 8 月までに入院した大腿骨近位部骨折術後患者 211 名のうち, 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) 21 点以上,受傷前が ADL 自立,独歩自立の患者 63 名 (平均年齢 76.8±10.6 歳)			
④ 対象期間	2016 年 4 月～2019 年 8 月			
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター			
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科			
⑦ 研究責任者	氏名	吉村将太	所属	聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療録より, 入・退院時の疼痛 (安静,動作時NRS) ,意欲 (Vitality Index : VI) ,Berg Balance Scale (BBS) ,患側下肢荷重率,HDS-R,年齢,在院日数を後方視的に調査します.			
⑨ 研究の概要	大腿骨近位部骨折患者にとって難易度が最も高いものが浴槽移乗といわれています(岩井ら, 2012). 本研究では,回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折術後患者の退院時の浴槽・シャワー移乗の自立に影響する因子について検討し,作業療法の一助とすることを研究目的としています.			
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日		2019 年 12 月 24 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます. 詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください.			
⑫ 結果の公表	得られた研究結果については,学会(2020 年 3 月に開催予定である回復期リハビリテーション病棟協会第 35 回研究大会 in 札幌)で発表予定です.			
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します. 研究する際,個人の特定につながる情報は,当院で特有の番号に置き換えて (このことを「匿名化」と言います) 管理します.学会等で発表する場合も,個人を特定できる情報は使用しません.			
⑭ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します			
⑮ 研究の資金源	特にありません			
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンターリハビリテーション室 吉村将太			
	電話	0942-35-5522	FAX	0942-34-3306